

妊娠中の働き方に関するアンケート調査 設問一覧

質問1. 所属県

選択式 ()

質問2. 性別

1. 男性 2. 女性 出産歴あり 3. 女性 出産歴なし

質問3. 年代

選択式 (20~29、30~39、40~49、50~59、60~69、70以上)

質問4. 職場の“診療放射線技師”の人数について、教えてください。(人)

選択式 (0、1~5、6~10、11~20、21~30、31~40、41~50、50以上、100以上)

1. 正社員 (男性) 2. 正社員 (女性) 3. 非常勤・パート・アルバイト (男性)
4. 非常勤・パート・アルバイト (女性) 5. 派遣社員 (男性) 6. 派遣社員 (女性)

質問5. 施設規模について、診療科目を教えてください。

(複合施設に勤務されている方は複数選択可)

1. 健診機関 2. 単科 (診療所含む) 3. 2~5
4. 6~10 5. 11~20 6. 21以上

質問6. 施設規模について、病床数について教えてください。

1. 無床・健診機関 2. 1~100床 3. 101~300床
4. 301~700床 5. 701床以上

質問7. 妊娠した時の業務内容の考慮事項等が就業規則へ記載 (放射線部門に関する事項)

されていますか? 又は放射線部門での決まりごとはありますか?

1. 特にない
2. 就業規則に放射線技師に関する明確な記述がある
3. 放射線部門で考慮事項がある
4. 把握していない・知らない

質問8. 放射線部門で妊娠報告の時期を明確に決めていますか?

1. はい 2. いいえ 3. 知らない

※※ 放射線部門で妊娠報告の時期を明確に決めているに『いいえ』と答えた方のみ回答ください。(質問8の回答内容によっては表示されません)

質問9. 報告時期を明確に定めていない理由は

1. 本人にゆだねている 2. 特に理由はない 3. その他:

<妊娠中の勤務について>

質問10. 妊娠中の勤務について相談する面談の機会は設けられていますか？最も近いものを1つ選んでください。

1. 妊娠時の面談の規定はあるが実施されていない
2. 所属長など上司と面談を適宜行う
3. 妊婦健診報告時に面談を行っている
4. 必要に応じて面談の希望を妊婦側より申し出る
5. 妊娠時の面談の規定はなく面談も行っていない
6. その他:

質問11. 妊娠中の業務で配慮している項目や配慮された項目についてお尋ねします。どのような場面でそう感じましたか？当てはまるものをすべて選んでください。

- ある程度のモダリティについて配慮（ポータブルなど）
- 日直や当直、院外待機などを配慮
- 妊婦検診などで休暇を許可（遅刻・早退を含む）
- 気分不良などで休憩や休暇を許可（遅刻・早退を含む）
- 妊娠中の技師が希望する業務に配置
- 上司や同僚より適宜休憩をとるよう配慮
- その他:

質問12. 妊娠中に担当可能と考えられるモダリティをすべてお答えください。（複数回答可）

- 一般撮影
- 乳房撮影
- CT
- MRI
- RI
- PET
- 血管撮影（IVRも含む）
- 放射線治療
- 透視検査
- 超音波
- 検像業務
- その他:

質問13.【経験者のみお答えください】妊娠中に辛かったモダリティはありますか？（複数回答可）

- 一般撮影
- 乳房撮影
- CT
- MRI
- RI
- PET
- 血管撮影（IVR も含む）
- 放射線治療
- 透視検査
- 超音波
- 検像業務
- その他:

質問14. 妊娠中の職員と共に働く際にあなたが困ることはありましたか？（複数回答可）

- 特に不便や困る事はなかった
- 仕事量・業務量が増えた
- 仕事量・業務内容の不公平を感じた
- 休みがとれない
- 妊婦の方への配慮の仕方がわからない
- 代替え職員の確保に困った
- その他:

質問15.【経験者のみお答えください】妊娠中にあなたが困ることはありましたか？（複数回答可）

- 保健指導や妊婦健診を受ける時間の確保
- 休みがとれない
- 電車通勤
- つわりがひどい時の休憩時間の申し出
- 相談者がいなかった
- 妊娠の事例が少なく明確なルールがなかった
- 勤務形態
- その他:

以上